

セレスタミン中止後の全身症状と6か月休職を経て復職した成人アトピー・鼻炎の経過 (32歳 成人)

症例 ID：001-30-KY3 | 記録日：2015年9月8日

1. 診断・治療前経過

幼少期から鼻づまりがあり、大学1年頃から首、肘、膝、額にかゆみと落屑が出るようになりました。

鼻炎に対してセレスタミンを服用すると鼻・皮膚・目の症状は一時的に治まりましたが、1〜2か月頃からムーンフェイスと全身倦怠感が出ました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	鼻炎に対してセレスタミンを内服しました。
製品名	セレスタミン。
強度	ベタメタゾンを含む配合内服薬です。
使用期間	正確な期間は不明ですが、少なくとも1〜2か月以上継続しました。
中止時期	大学3年頃、松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に内服しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
大学1年頃	皮膚症状	首、肘、膝、額にかゆみと落屑が出ました。
その後	セレスタミン服用	鼻・皮膚・目の症状は一時的に治まりましたが、ムーンフェイスと倦怠感が出ました。
服用中止後	強い反応	日中は何もできず、夜も眠れない日が続きました。
大学3年頃	治療開始	遠隔で漢方入浴、煎じ薬、外用処置を開始しました。
治療2日目	リバウンド	全身のかゆみ、不眠、顔の色調変化、耳切れ、首のごわつきが出ました。
治療約2年	一時的変化	症状が少し軽くなり、友人と外出できるようになりました。
治療約5年	再度の強い波	全身のかゆみと痛みで仕事が難しくなり、6か月休職して実家へ戻りました。
休職約6か月後	復職	体調が少しずつ戻り、仕事へ復帰しました。
治療約10年	記録時点	小さな症状の波はあるものの、見た目でアトピーと気づかれにくく、鼻呼吸ができる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療約5年目に全身のかゆみと痛みでスーツを着ることや一人暮らしが難しくなり、6か月休職した時期です。

5. 困りごと

- 全身の痛みでスーツを着られず、仕事を休みがちになりました。
- 背中をベッドにつけられず、夜間に眠れませんでした。
- 一人暮らしを続けられず、母親の支援を受けて実家へ戻りました。

6. 経過のまとめ

6か月の休職後に復職し、その後約5年間は小さな症状の波を経ながら仕事を続けました。

治療約10年時点では、見た目でアトピーと気づかれにくくなり、鼻づまりも減って鼻呼吸ができるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。